

2022

令和4年

1.26

所管 連合自治部

発行責任者 梶原宜教

第81号

43自治会  
8,558世帯

題字揮毫 中原八一新潟市長

# 大道



新潟市西区長 笠原明夢

## 地域の交流を守る

新年おめでとうございます。

坂井輪中学校区の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

まの健康増進をはじめ、次代を担う子どもたちへの地域の関わりや世代間の交流など、多くの事業を積極的に行っていたいただいていることに、お礼申し上げます。

皆さまには、日頃より区政に温かいご支援とご協力を賜っておりまして、心から感謝申し上げます。

坂井輪中学校区まちづくり協議会様は、地域による支え合いのしくみづくりや、地域の皆さま

また、私も参加させていただきましたが、昨年初めて「さかい輪地域交流音楽フェスタ」を開催いただきました。「音楽は地域を変える」「音楽は世代をつなぐ」をキャッチフレーズに、若い世代からご年配

の方までが一堂に会し、音楽を通して交流を深める素晴らしい取り組みに感激いたしました。これまで新型コロナウイルスの感染拡大により、地域の活動が縮小・中止せざるを得ない中でも、感染対策をとりながら、こうした活動をいただき、地域の交流などを守っていただいていることに重ねて感謝申し上げます。

新年度はさらに、超高齢社会に対応した認知症予防や地域の皆さまとの協働による除雪対策などの取り組みも考えています。本年も、地域の皆様のご意見を大切にしながら、職員一丸と安心して暮らせる、自慢できる西区のまちづくりを進めてまいりますので、変わらぬご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



坂井輪中学校区まちづくり協議会  
会長(連合自治部長) 梶原宜教

## 年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

坂井輪中学校区内自治会の皆様には、穏やかな新春をお迎える事とお慶び申しあげます。

さて、昨年は新型コロナウイルスの感染がまだ終息の目途も立たず、さらにオミクロンという新しいウイルス感染が見られ、不安の中での年越しとなりました。

前年に引き続き地域活動に大きな制限がかかり、それぞれの活動の中止や縮小を余儀なくさ

れており、人とのつながりや支えあいができない現状が続いております。

しかし、当協議会では専門部が担うそれぞれの取り組みを実施するために、今までは異なる新生活様式という大きな手数のかかる対応を余儀なくされる中で、皆さんの熱意で感染防止策を徹底した取り組みで、少しでも地域の活性化、世代間のつながりを目指して活動をしてまいりました。

特に自治会組織を超え、さか

い輪地域で子育て中の若い多数の有志から「閉塞感漂う現状の地域環境を打破したい!!」との声が大きく上がり、連合自治部主催事業として昨年12月4日に「さかい輪地域交流音楽フェスタ」を開催いたしました。

「音楽は地域を変える」「音楽は世代を繋ぐ」をフレーズに小・中・高校の児童・生徒の皆さんや、地域の若い世代と高齢者が音楽を通して交流を深め、この閉塞感を打ち破ろうとの趣旨で取り組んだもので、この企画から実施までを現役世代の地域の皆さんが多忙の中で力を合わせて取り組んでいただき、改めてさかい輪の若い世代の皆さんのパワーとその企画力に改めて力強く感じました。厳しい環

境下での開催でしたが、この取り組みが地域の皆さんに元気を送り、世代間の繋がりができた！と、そして実施してよかったと思っております。

新しい年を迎え、いまだ感染は終息せず不安も漂う中ではありますが、このさかい輪地域の皆さんに「未来を信じ支えあつて乗り越えよう」と呼びかけながら、今年も「さかい輪の輪づくり」を意識しつつ大きく前を向いて進んでいきたいと思っております。

各自治会の皆様にとりまして、令和4年の新しい年が、良き年となりますよう心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

令和3年度

# 連合自治部全体会議(総会) 坂井輪連合自主防災会総会

## ◆連合自治部全体会議

さかい輪中学校まちづくり協議会連合自治部全体会議(総会)が、令和3年5月22日(土)西役所健康センター3階大会議室に於いて開催されました。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言下で、残念ながら対面方式での開催が出来ず、書面による議案表決となっていました。今年度は来賓の西区役所区長笠原明夢様、地域課長松尾大介様のお二人をお招きし、39名の自治会からの出席を得て開催いたしました。

梶原部長の開会の挨拶に続き、来賓の笠原区長からもご祝辞を頂いた後、総会の出席者の中から、新通南自治会廣井清隆会長を議長に選出し議事進行に入りました。

上程された前年度の事業報告及び収支決算報告と、新年度の事業計画並びに収支予算



### 第3号議案

令和3年度事業報告(案)

### 第4号議案

令和3年度収支予算(案)

### 第5号議案

令和3年度役員の補充改選(案)

補充改選(案)

◆ 選任された補充新任役員(敬称略)は次の通りです。

◆ 新任常任委員

南ヶ丘自治会

森 國男

西坂井第2自治会

遠藤 正伸

寺尾南新町自治会

関 憲一郎

## ◆坂井輪連合自主防災会総会

総合自治部全体会議に引き続き開催した連合自主防災会総会は、規約により梶原会長が議長に就いて議事を進め、前年度の事業報告と収支決算報告、新年度の事業計画並びに収支予算(案)が上程され、審議後議案は全て承認されました。

また、第5号議案の役員(常任委員)退任に伴う補充専任については、3名常任委員が選出されました。

### \* 上程審議議案

#### 第1号議案

令和2年度事業報告

#### 第2号議案

令和2年度収支決算報告

\* 収支予算(歳入・会費)より

各自自治会拠出金負担金の支援先配分の見直しについて審議した結果、各自自治会での負担金を実質的な増額をするこ

となく、各自自治会が関係している各組織間の自治会負担金を効果的に調整してその範囲の中で坂井輪連合自主防災会に対する負担金20円から40円に変更することが承認された。



連合自治部・福祉部共催の「三者合同研修会」はコロナ禍により、2年続けての講演会主体となりました。地域の皆さんで作りました「第3次いきいき西区支えあいプラン」が4月より稼働し、それに基づいた計画や坂井輪診療所・安達所長による「いのちのひとりぽっちをつくらない」の講

演、その後に包括支援センター長から包括の仕組みなどの説明をいただき、ご来賓の笠原区長はじめ各自自治会長・民生委員・友愛訪問員等108名の参加者で今、何が出来るか、何をすべきかを共有しました。

# 令和3年度 区長との「区政懇談会」



令和3年6月12日(土)に西区役所の主催による区政懇談会が開催されました。西区役所より笠原区長をはじめ副区長、関係各課長の出席のもと区長より挨拶の後、事前に当まち協より提起した地域課題に基づきその回答と意見交換が行われました。その概要は以下の通りです。

まち協より提起した地域課題	行政からの回答
<b>1 坂井輪中学校内の道路環境整備と対応</b> <b>① J R越後線新大前駅ガード下のエレベーター設置要望</b> ※市長に他コミ協と連名で要望書提出。 <b>② 大堀幹線道路の補修について</b> (特に振動対策) <b>③ 西川左岸堤防遊歩道の補修整備</b> <b>④ 地域の安心安全対策における要望に対する行政の連携について</b>	<b>1</b> <b>①</b> 市長も整備に向け検討を考えているとの話で、早期に課題整理と検討業務に着手できるよう予算要望を進める。 <b>②</b> 地盤は安定してきている。振動対策として路面の平坦性回復工事、ひび割れ、継ぎ目の改修で振動を軽減させる。 <b>③</b> 亀貝橋以西は緑地確保の用地がないが、可能性を考慮したい。修繕の必要なところは早急に改修を進める。 <b>④</b> 学校、地域、警察、区役所が連携し「交通安全プログラム」に基づき連携している。R3年は合同点検の年です。地域の要望は出来る限り取次していく。
<b>2 地域避難所の運営について</b> <b>① 避難所運営マニュアル確立と住民への周知について</b> <b>② 避難所の物資等設備方針とその支援策について</b> <b>③ 坂井東小、新通小、新通つばさ小、坂井輪中の各4避難所の備蓄品確保について</b>	<b>2</b> <b>①</b> 平成25年に避難所運営マニュアルを作成し毎年避難所運営講習会で配付している。市も「避難所運営委員会」立上げを進めており、西区として支援していく。 <b>②③</b> 以下一括回答 地域防災計画に基づき人口に対応した配置数を、備蓄用ラックの整備でスペースを確保し適正に改善していく。
<b>3 各個別防災組織と避難行動要支援者制度について</b> 西区での取り組み状況とその周知の考えはどうか	<b>3</b> 制度の趣旨に賛同している自治会は西区で73%。制度の重要性を防災関係の講習会を通じ広く進める。又制度の課題を改善すべきは改善していく。
<b>4 第3次地域福祉計画・活動計画の取り組みについて</b> 新しいいき西区ささえあいプランが策定されスタートした。民生委員や関係団体との連携、友愛活動等行政の関りと評価をどう充実させるのか。	<b>4</b> 実りある計画の為に西区として民生委員、関係団体と協力関係を進める。また社会福祉協議会と連携し周知を進め研修のテーマに加える等、運営上の課題解決の為支援を行う。毎年度計画の評価を行い次年度へ繋げる。

その他関連して参加自治会より前記以外でも通学路の危険箇所や防犯カメラに関する意見、防災に関して備蓄の方法、要支援者の把握に関する課題等、限られた時間内でありながら有意義な意見交換がなされました。



12月4日 新通小学校で開催

## 音楽フェスタ

## さかい輪地域交流

子供達の吹奏楽活動を通じて知り合った父親達が、コロナ禍でイベントが無いなら自分達で開催しようという企画、半年後に実現したイベントです。テーマとして定められた願いは「音楽は地域を変える、世代をつなぐ」です。

当日は、主催者として梶原まち協会長の挨拶、また来賓として笠原西区長様のご挨拶をいただき開演となりました。出演団体は、まちづくり協議会がはぐくむ「さかい輪ジュニア吹奏楽クラブ」(3小学校の児童で活動)を筆頭に、坂井輪中学校、日本文理高等学校の各校吹奏楽部の皆さんのほか、様々な音楽団体にご参加いただき、管やコカリナ、合奏やハンドベルの演奏等々バラエティ豊かな演目となりました。



会場は、主催者として梶原まち協会長の挨拶、また来賓として笠原西区長様のご挨拶をいただき開演となりました。出演団体は、まちづくり協議会がはぐくむ「さかい輪ジュニア吹奏楽クラブ」(3小学校の児童で活動)を筆頭に、坂井輪中学校、日本文理高等学校の各校吹奏楽部の皆さんのほか、様々な音楽団体にご参加いただき、管やコカリナ、合奏やハンドベルの演奏等々バラエティ豊かな演目となりました。

中でも印象的だったのが坂井輪中学校吹奏楽部卒業生からなる「坂井輪中学校OB O Gバンド」の皆さんでした。卒業後それぞれの高校生活を送り、演奏から離れたメンバーもいる中、有志で結成されたバンドです。その演奏は、文字通り若さのほとばしる名演奏となりました。また、運営や演奏サポートのボランティアとしても関わり、正に「世代をつなぐ」象徴的な存在となりました。

当日は寒い中にもかかわらず、会場は満席となりました。アンケートでは開催への喜びと感謝の声が多く寄せられ、地域の皆様の想いにも応えることができず。ご来場、誠にありがとうございました。

にはこんなにも多彩な音楽がある事を、再発見されたことでしょうか。



「ありがとう」を  
感じる自治会

上坂井自治会  
田中 裕

上坂井自治会は新潟大学前  
駅から新潟小学校近辺までの  
位置にあり、約420世帯の  
住宅地です。高齢者世帯もあ  
る一方で、マンションやアパ  
ート、新しい住宅が建ち子育  
て世代も増えています。

上坂井自治会では他自治会  
が有している自治会館や大規  
模なイベントはありませんが、  
地域住民が協力しあい、自主  
的に活動していただいている  
ボランティアの皆様のおかげ  
でとても住みやすい環境にあ  
ります。

上坂井は交通量が多い旧1  
16号に沿ったエリアです。  
天候に関わらず毎朝通学する



子ども達の安全を見守って  
くださる皆様、毎朝本当にあり  
がとうございます。

イチョウ並木が有名な新潟  
大学前駅で毎年落ち葉を清掃  
していただき、地域をキレイ  
にし続けてくださる皆様、本  
当にありがとうございます。

年2回行われるまちづくり  
協議会生活環境部主催の花植  
え活動では、新潟大学前駅を  
利用される方に癒しを感じて  
いただく為に積極的に花植え  
にご協力いただき、毎日の水



やりなど地域のイベントや美  
化にご協力いただいている皆  
様、毎年のご協力に感謝申し  
上げます。

いろいろな方に支えていた  
だき、とても住みやすく、あ  
りがとうございます。を感じ  
る自治会です。これからも、  
決して派手さは無いですが、  
少しでも地域を想い無理のな  
い範囲で協力しあえる自治会  
運営を目指したいです。



受賞おめでとうございます

今後ともますますの発展を期待します

～ 令和3年度 ～

- \* 新潟市 西区長感謝状  
坂井輪中学校区まちづくり協議会 渡辺 嬢 様  
坂井輪中学校区まちづくり協議会 大久保智子 様
- \* 新潟市住みよい郷土推進協議会 市長感謝状  
高齢者ボランティアクラブみどりの会 様
- \* 新潟市住みよい郷土推進協議会 会長表彰  
坂井輪中学校区まちづくり協議会 千葉 宏子 様
- \* 新潟市社会福祉協議会会長 社会福祉功労者表彰  
緑ヶ丘自治会 本間れん子 様
- \* 西区社会福祉協議会 西区社協 会長感謝状  
緑ヶ丘自治会 青木 良子 様

あとがき

今年度も、コロナで一年  
が終わろうとしていますが、  
このコロナ禍で、延期され  
ていた東京五輪が開催され  
ました。

特に、パラリンピックに  
ついては、日本選手の活躍  
に大いに盛り上がり、感動  
と共に多くの人に元気をい  
ただきました。心から尊敬  
と感謝を申し上げます。

五輪の開催については、  
色々と賛否があつた中、  
「コロナ禍だからやれない。」  
と言う事ではなくコロナ禍  
でもやれると言う日本の組  
織力を示し、そして開催し  
た事は世界中の人々に大き  
な勇気を与えた事と思いま  
す。  
コロナ感染も年も改まり  
いまだ終息が見えない状況  
下ではありますが、私達も  
気を抜かず防止対策をおこ  
なっていて、地域活動に邁進す  
る決意です。  
(事務局)